

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



# 「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和6年 4月18日(木) 発行人：校長 森内 秀学

## ちゃあんと教えたら、ちゃあんと変わる

「時津小版五つのしおり」の徹底に取り組んでいることは4月8日付の本紙でご紹介しました。1学期は、五つのしおり「時間をきちんと守ります」の時津小版「二分前着席」を、特に重点的に取り組んでいるところです。

朝8時から朝の会を始めるには、7時58分に着席しておく必要があります。このことを生活指導主任の石橋先生が子どもたちに指導してからというもの、子どもの登校時刻は一気に早まりました。「最近子どもの来るとの早うなったですねえ。」という言葉が地域の方から聞くことも増えています。

早くなった理由を地域の方に伝えると、地域の方はこうおっしゃいました。

「子どもはちゃあんと教えてやったら、ちゃあんと変わるとねえ。」

子どもが短期間にこれだけ変われるということは、これまでのこちら側の意識が足りなかった、指導が行き届いていなかった、ということでもあります。反省です。

一方、「ちゃあんと教えたら、ちゃあんと変わる」子どもの姿は、教育の可能性を示唆しているとも言えます。

では、どんな教え方が、どんな内容が「ちゃあんと」なのか。子どもの変化を信じながら、学校も保護者も地域も、しっかり考えて対応する必要がありますね。

## 1年生も給食開始！



給食を食べずに帰っていた1年生も、4月17日(木)から、いよいよ給食が始まりました(右)。初日は大好きなカレー。

1年生にとっては、何もかも初めて。そこで登場するのが、スーパーヒーロー6年生です。



左上は、給食着のたたみ方や袋への入れ方を教えてくれている様子、そして左下は、ストローの袋の両端を破り、真ん中に寄せて「いもむし」のようにしてから牛乳に挿すやり方を教わっている様子です。



教室に来て、誰が困っているのか、どう教えればよいのか分からずもじもじしていた6年生が、一人教え、二人教えていくうちに、自信をつけ、1年生となじんでいく様子を見ながら、6年生は、1年生のおかげで6年生になれるんだな、としみじみ思いました。